

# 対話から始まる！まちづくり

住民参加型のまちづくりを推進していくための手段として、市の施策などを知ってもらう制度を揃えました。また昨年度、ご参加いただいた人の声をご紹介します。ぜひ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

☎ 広報対話室 ☎ 63-7402

## ■市長のまちかどトーク

市長が直接、皆さんの生活や活動の場に伺い、市が直面するさまざまな課題について話し合います。まちづくりに対する意見、提言などもお寄せください。皆さんの声を市政に生かしていきます。

**対象** 市内在住、在勤、在学の10人以上のグループ  
**時間** 90分程度 **テーマ** 特に定めません  
**申込** 原則として希望日の1ヵ月前までに、電子メール(pr@city.nabri.mie.jp)、ファクス(63-2460)、郵送、電話で受け付けます。



日時(第3希望まで)、団体名、代表者連絡先(住所、電話番号)、参加予定人数、会場名(所在地)を書いて、お申し込みください。

## ■「出前トーク」をご注文ください

市の担当職員が地域に出向いてお話しする「出前トーク」。昨年度、ご好評をいただいたテーマはもちろん、新しく追加したテーマなど、全99のテーマをご用意しました。

テーマを選んで、地域組織や各種団体など10人以上のグループでお申し込みください。テーマの詳細い内容や申込方法など詳しくは、市役所、公民館・市民センターなどに備えている「出前トーク」の冊子や市のホームページをご覧ください。



### 主なテーマ

- ▼まちづくり(名張市総合計画、防災対策、地域ビジョンなど)
- ▼暮らし(消費者トラブル、ごみの出し方、人権など)
- ▼環境(温暖化対策、浄水場、下水道など)
- ▼健康と福祉(介護予防、健康づくり、子育て、年金・医療制度など)
- ▼産業(農業振興、地産地消、鳥獣害対策、観光、商業など)
- ▼教育・文化・スポーツ(教育・学校運営、文化財・歴史など)
- ▼行政のしくみ(名張市の家計簿、行政改革、議会、広報づくりなど)

## ■わたしたちの施設見学会

市内の公共施設などを見学していただき、施設の目的や役割などについて理解を深めてもらうことが目的です。1人ではなかなか行きにくい場所や普段見ることができないところを見学できると好評です。

### 平成25年度前期・1日コース

※再募集しています。

午前 美旗市民センター → 美旗古墳群  
 → 観阿弥ふるさと公園 → とれたて名張交流館  
 午後 市庁舎 → 消防庁舎・防災センター



日時 5月22日(水)・28日(火)、7月10日(水)  
 午前9時～午後3時30分  
**対象** 市内在住で小学生以上の人  
**定員** 各見学日20人  
 ※先着順、最少催行人数10人

### 昨年度の人気テーマ ベスト3

昨年度は「出前トーク」を全76回実施し、のべ2,417人のご参加をいただきました。



#### 第1位 防災対策(20回実施)

東日本大震災が発生し、防災意識が高まる中、防災対策のテーマを多く注文いただきました。地域で防災対策を進めるきっかけにいただいています。

#### 第2位 名張の歴史(15回実施)

市史編さん担当による地域の歴史を深く掘り下げた内容が好評です。

#### 第3位 未然に防ごう消費者トラブル(12回実施)

日程の都合が合えば、市消費生活協議会の皆さんのご協力でも披露します。

## 直接、話をする事で行政が身近に



西尾 雄子さん(桔梗が丘3)

桔梗が丘3番町の自治会と婦人会として、昨年度、3つの制度を利用しました。

「まちかどトーク」では、自治会の集会所へ亀井市長にお越しいただいて、空き家対策などについて話し合いました。空き家に若い人が住んでくれたら、まちは活気づきますね。3番町では、徐々にですが、若い世代が住み始め、赤ちゃんが生まれたお宅にはお祝いをさせてもらっているんです。今後も自治会全体で若い世代を歓迎していきたいと思っています。

「施設見学会」では、婦人会のメンバーで市内の施設

を見学。特に昨年のコースで見学した中央浄化センターは、流れてくる下水をきれいな水にする仕組みが分かり主婦としても関心が湧きました。

防災をテーマに自主防災訓練を自治会で計画したときに「出前トーク」を利用しました。自治会だけでは難しかったと思いますが、消防や危機管理の職員に協力していただき、大規模で有意義な訓練ができました。

市長や職員の皆さんと直接話をする、とても行政が身近に感じます。制度を活用することで、自治会や婦人会としても勉強になりましたね。